

シャープファイナンスの
カーリース



SHARP FINANCE

CAR LEASING



社有車は、 メンテナンスリースで ラクラク管理しませんか？

自動車リースは年々増加！

2023年3月末現在406万台

新車登録の約7台に1台が

リース車両です。

リース契約者の約7割が

メンテナンスリースを採用しています

メンテナンスリースとは？

車両代、税金・保険料に加え、車検やオイル等の
消耗品交換をトータルでパッケージした総合商品です。

導入事例

交渉力強化でコスト削減！ キャッシュフローも平準化！

■リース導入前の悩み

長年以下について管理手間を感じていました。

- ・新車導入時の自動車ディーラーとの価格交渉
- ・法定点検・車検の手配
- ・車両の点検・修理費用が適正価格かどうかの検証

★メンテナンスリース導入によりこの悩みが解決されました。

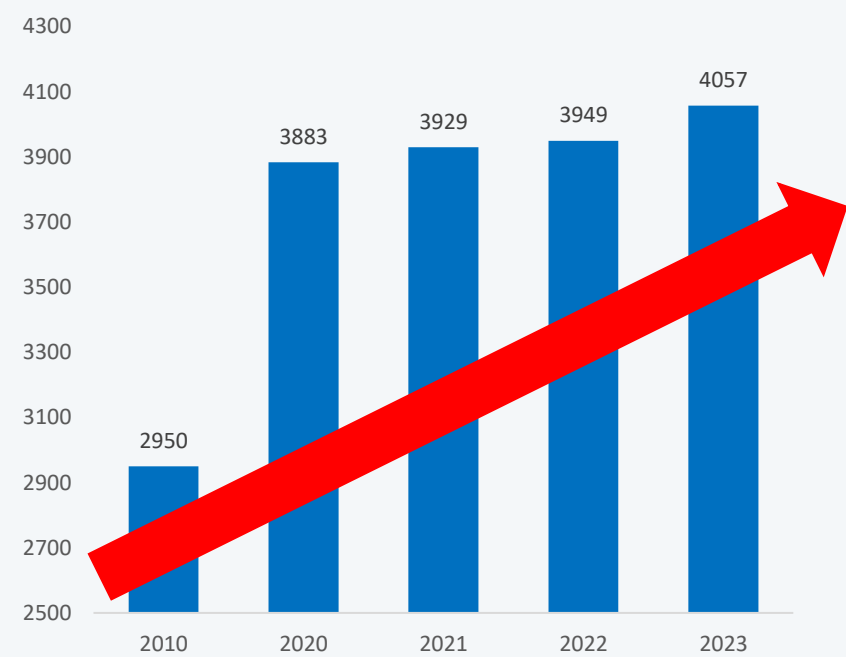
リース会社は、自動車ディーラー・整備工場との継続的な取引関係を持っていますので、**価格交渉をリードし、アウトソーシングメリットを提供**してくれました。また、結果として従来の自社管理時と比較して**コスト負担減**となりました。費用が平準化されますので予算組みがやすく明確になることもカーリースのメリットのひとつです。もう一つ、任意保険をリース契約に組み込むことにより**保険割引率変動による影響を少なく**したことも導入のポイントとなりました。

製造業E社 保有台数 30台

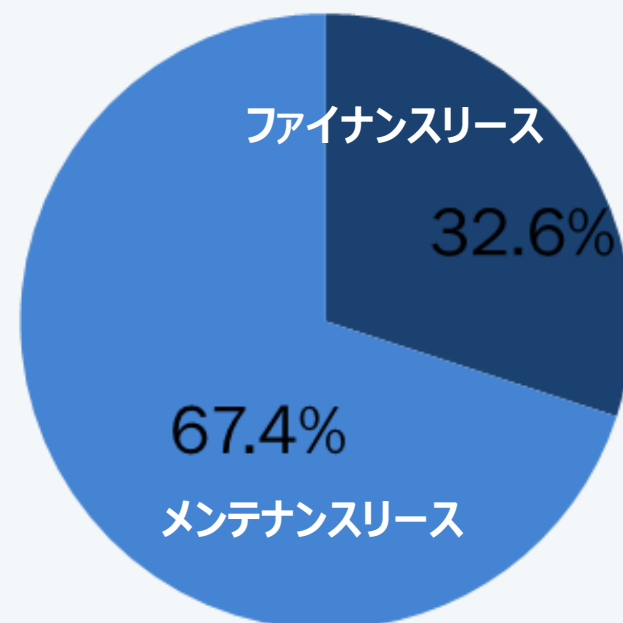
■3点の悩みが解決できなかった理由

- ・車両管理業務が本来業務ではないので、自動車ディーラーとの価格交渉にあまり時間を割けない。
- ・同様の理由で点検等の整備工場の手配が後回しになる、または現場任せになりがち。
- ・整備工場からの請求金額は他と比較しようが無く、安いのか高いのかがわからない。

単位：千台



日本自動車リース協会連合会調査



日本自動車リース協会連合会調査